

松戸市内放射線測定 今後のスケジュール等

1 測定高さ

各地点とも 5 c m、50 c m及び 100 c m

2 測定する定点（12箇所）

- ① 松戸中央公園 ②21世紀と森の広場 ③古ヶ崎保育所
- ④小金北保育所 ⑤小金原保育所 ⑥八柱保育所
- ⑦牧の原保育所 ⑧六実保育所 ⑨新松戸西小
- ⑩矢切小 ⑪東部小 ⑫上本郷第2小

3 測定頻度

- ① 定点：2週間間隔位
- ② 他、週30ヶ所位の目安で必要全施設測定に向けて進めていく。

4 対象施設

公立保育所、民間保育所、幼稚園、公園、学校等

5 参考

「東葛地区放射線量対策協議会」において、東葛地域の放射線量の測定を共通の手法等で、より多くの施設の測定を対象に行うこととしています。

現在、暫定的目安値としては、平成23年4月19日に文部科学省から発表された福島県内の校舎・校庭等の利用判断における暫定的考え方の目安値〔平成23年4月以降、夏季休業終了（おおむね8月下旬）までの期間を対象とした暫定的なもの〕である $3.8\mu\text{Sv}/\text{時間}$ となっています。その後、文部科学大臣は、5月27日、福島県内の学校などで放射線量を低減させるための当面の対応を発表しました。それによると、学校での屋外の活動を制限する放射線量の目安は、これまでどおり年間の累積で20ミリシーベルト以下としながらも、今年度は、学校において児童生徒等が受ける線量について、当面、年間1ミリシーベルト以下を目指すとしています。そして、土を取り除くことで放射線量を下げる効果が見込まれるとして、空間線量率が1時間当たり1マイクロシーベルト以上の学校を対象に、土を取り除く費用のほぼ全額を国が負担することを発表しました。